

圏域への誘いとモビリティアッププロジェクト（大空町）

【格差の分野】 社会構造の格差

【支援期間】 平成24年度～平成25年度

目的

- 1、圏域への魅力が地域内外に知られることにより、来訪者やリピーターが増え、将来的な移住定住、産業創出につなげる。
- 2、公共交通に関し、来訪者と町民の利便性を高め、地域交通体系の最適化を図る。

事業概要

- 1、東京農業大学と連携し圏域活性化協議会を設立、圏域の魅力を掘り起し、発信するための媒体を作成する。
- 2、北見工業大学と連携し、地域公共交通の最適化を図る。

主な取組

- ① 圏域の魅力素材を発信する媒体を作成。
- ② 高齢者に特化したデマンド交通の実証実験を実施。
- ③ 地域公共交通の最適化のために、検討会議を開催。

指標に基づく効果

設定指標	目標値	実績値	備考
観光客数の増加	現状 H22 856,100 人 ↓ 目標 H26 881,000 人	H23 実績 833,100 人 H24 実績 808,300 人	
	(内容) H19 から H21 までに観光入込客数が漸減していることから、H23 を基準に、プロジェクトが終了する H26 まで、概ね 3%増加することを目標とする。	(内容) H23：道外客の大幅減によりマイナス H24：道内容の大幅減によりマイナス ※事業成果物が未完成	

設定指標	目標値	実績値	備考
公共交通利用 人員の増加	現状 H22 104,380 人 ↓ 目標 H26 107,000 人	H23 実績 108,000 人 H24 実績 113,000 人	
	(内容) 来訪者と町民の移動手段の利便性を高める地域公共交通体系の最適化を目指すため、概ね 3%増加することを目標とする。	(内容) 路線バス事業者による路線やダイヤ見直しにより、利便性が向上し、利用者数が増加した。	

その他の効果・成果

■圏域への誘いの媒体「EAST北海道」が完成し、移住フェアなどで地域の魅力PRを実施している。今後、空港を核としたプロモーションで活用を予定。また、女満別空港ビルとのタイアップにより空ビルHPで電子媒体による閲覧が可能となった。

■高齢者のデマンド交通の実証実験により、課題が見えたことから、引き続き、庁内検討会議において、本格実施に向けて検討を進める。

課題・問題点

■当初モビリティアッププロジェクトで予定していた女満別空港と東藻琴芝桜公園の二次アクセスの実証実験については、近隣自治体や事業者との調整に時間を取られ、開花時期に間に合わなかったため、事業実施が困難となった。

■地域公共交通体系の最適化は、短期間での実施が困難であり、今後も継続して事業を進める。

今後の展望

■圏域への誘い媒体については、今後の空港を核としたプロモーションで、圏域の魅力発信のために活用する。

■女満別空港から芝桜公園への二次交通については、H26に試験運行を行い、弟子屈町が実施する芝桜公園～川湯温泉間のバス運行とも連携を行う。